

注目! まちの話題



災害協定締結
より迅速な対応が可能に

7月25日、市と山崎製パン株式会社古河工場は、災害時における物資の供給に関する協定を締結しました。市の要請によりパンなどの物資を優先的に供給するなどの内容になっています。

また、7月28日、市は王子コンテナ株式会社茨城工場と協定を締結。災害時に市の要請で段ボールシートなどを供給し、避難所等での活用を図ります。

市内事業所との協力・連携で、災害時のより迅速な対応が可能になりました。

▶山崎製パン株式会社と協定を締結(右は今川工場長)



▶王子コンテナ株式会社茨城工場と協定を締結(右は津和工場長)



道の駅からお天気生中継
「木村拓也の上を向いて歩こう！」



▲道の駅には延べ2,000人が集合。木村さんが「ただいま～」と手をふると、「おかえり～」と大歓声

8月11日、古河市出身のフジテレビアナウンサー・木村拓也さんが、道の駅「まくらがの里こが」から、お天気コーナーの生中継を行いました。気象予報士を目指す木村さんが合格祈願のため、人力車を引いて天気中継をしながら日光街道の宿場町を巡り、日光東照宮を目指すという番組企画。8月1日に日本橋を出発し、9日目に古河市に到着しました。

「日本橋を出発して、体もきつくなってきたところで古河市に帰ってきて、たくさんのパワーをもらいました」と、真っ黒に日焼けした満面の笑顔。地元への凱旋を喜んでいました。



未来のパパ・ママ体験
中高生・乳幼児ふれあい交流事業



▲両親への感謝の気持ち、いのちの大切さを感じる貴重な体験(7月25日、古河福祉の森会館)

7月25日・28日・29日に、「中高生・乳幼児ふれあい交流事業」が開催されました。妊娠から出産までの学習や、人形を使ったおむつ替えや抱っここの練習をした後、実際に赤ちゃんのお世話体験がスタート。

おもちゃで一緒に遊んだり、ママと離れて泣き出す赤ちゃんをあやしたり、部屋中を駆け回る子を見守ったりと、中高生の皆さんはそれぞれ一生懸命お世話をしていました。

赤ちゃんを見つめる中高生たちのまなざしは、本当のパパとママのような優しいものでした。